

1. 定期総会の開催

平成21年5月21日（木）、神戸海洋博物館ホールに於いて開催すべく、会員各位に案内していたところ、神戸地域に新型インフルエンザの発生により、総会の開催について関係機関と調整した結果、開催を取り止め「書面総会」に切り替えることとした。書面による提案議案について、過半数の会員から「議案決議書」の送付を受け承認された。

また、総会当日、予定をしていた「神戸港見学会」及び「会員交流会」も取り止めた。

2. パネル展の開催

横浜港開港150周年記念事業に当フォーラムが参画することで、国内各港の開港当時の様子を写真パネルにして、横浜みなと博物館のブースに展示する計画で、正会員博物館等にパネル出展を要請したところ、14の博物館等から出展希望の賛同があった。

出展希望博物館等から開港当時の資料の提供を受けて、横浜みなと博物館の協力により、写真パネル（B-1版）を制作し、平成21年9月10日（木）から23日（水）までの2週間、「日本の港の開港期展」として横浜みなと博物館ブースに展示して参観者に紹介した。

また、上記パネル展示期間中に、加盟博物館を周知していただくために、各館のパンフレット・チラシ等を配布すべく、各博物館に提供方協力を依頼したところ、加盟館の半数以上の18館から26種類の提供を頂き、展示期間中参観者の方々に配布することができた。

◎ 写真パネル制作港

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ① 東京港 | ② 横浜港 | ③ 清水港 | ④ 名古屋港 |
| ⑤ 大阪港 | ⑥ 神戸港 | ⑦ 博多港 | ⑧ 新潟港 |
| ⑨ 北九州港 | ⑩ 鹿島港 | ⑪ 口之津港 | ⑫ 三国港 |
| ⑬ 呉港 | ⑭ 四日市港 | | |

3. 助成事業への支援

平成21年3月25日開催された、平成21年度対応の助成事業審査委員会において、助成対象事業として認定された、下記6事業については全て昨年度中に完了し、助成金も支払済みです。（新潟市のみ22年度支出）

番号	申請会員名	活動名	実施期間	助成金額
1	青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸	港まちづくり事業「八甲田丸港フェスタ」	自21.7.9 至21.10.31	209,000円
2	新潟市歴史博物館	連続講演会「日本(ヤマト)緑辺の勢力と日本海交流」	自22.3.7 至22.3.28	133,640円
3	名古屋海洋博物館	第42回名古屋港港湾ゼミナール	自21.4 至21.8.31	69,900円
4	神戸海洋博物館	神戸みなとの知育楽座	自21.5.22 至22.2.20	222,500円
5	みちのく北方漁船博物館	みちのく北方漁船博物館案内パンフレット等の更新及び作成	自21.5 至21.5.26	96,600円
6	うみてらす14	うみてらす14PR用パンフレット等印刷	自21.9.29 至22.2.17	100,000円
	計			831,640円

4. 巡回パネル展（日本の港の開港期展）

前記、横浜港開港150周年記念事業に参画し、横浜みなと博物館ブースに展示した写真パネルを、全国各地を巡回し皆さんに周知して頂く方策から、会員博物館に巡回パネル展の開催希望を募ったところ、7博物館から開催希望の要請があった。各館の実施日程を下表の通り調整し、現在までに6博物館での巡回パネル展が好評裡に終了している。

巡回パネル展実施予定日程表

番号	巡回希望博物館	展示実施予定期間	備考
1	青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸	21.10.25～21.11.29	終了
2	わかちく史料館	21.12.6～21.12.20	終了
3	神戸海洋博物館	21.12.27～22.1.24	終了
4	うみてらす14	22.2.1～22.2.15	終了
5	名古屋海洋博物館	22.2.28～22.4.20	終了
6	海の科学館	22.4.29～22.5.31	終了
7	なにわの海の時空館	22.6.25～22.8.1	

5. スキルアップ交流会の開催

会員博物館の実務に携わる職員が交流し、来館者の効果的な集客策や、館に従事する職員が学芸活動について様々なスキルアップを修得するために、平成

21年度についても下記概要で、スキルアップ交流会を実施した。

- (1) 開催年月日 : 平成22年2月4日(木)5日(金)の2日間
- (2) 開催場所 : 神戸海洋博物館他
- (3) 研修参加者 : 4博物館6名(事務局1名含む)
- (4) 研修指導者 : 神戸海洋博物館 振興部長 森田 潔 氏
- (5) 研修施設館 : ① 神戸海洋博物館
② 人と防災未来センター
③ 神戸市立王子動物園・動物科学史料館
④ 白鶴酒造史料館

◎ 各施設の専門担当者から、各館の特色・目的性や参観者のニーズに対応した集客・展示方法及び各館が実施している特異性について研修を受け、大変勉強になった。今後も続けてほしいとの意見もいただいた。

また、初日の夕刻に研修者及び関係者による、交流懇親会を実施したが、時間的な制約から充分なる情報交換が出来なかったとの提言も頂き今後の対応に反映していきたい。

- (6) 神戸港視察 : 2日14時から15時の1時間、神戸市のご協力により、市の港務艇「おおわだ2」に乗船し、森田部長他皆さんのご案内により、中突堤～HAT神戸までを航海し神戸港の各施設を見学した。

6. 企画委員会の開催

(1) 第1回企画委員会

- ① 開催日時 : 平成21年7月9日(木)13時30分～
- ② 開催場所 : (財)帆船日本丸記念財団 訓練センター 第3教室
- ③ 参加者 : 委員・7名、オブザーバー・2名、事務局・3名
- ④ 議題 : ○ 助成事業について(応募要綱等のみなおし)
○ 横浜港開港記念事業について(パネル展実施)
○ 収蔵品リストの作成について(時期尚早)
○ クイズラリーの実施について
○ その他事項
 - ・ 会報誌の発行について
 - ・ 事務局運営経費の1部負担について

(2) 第2回企画委員会

- ① 開催日時 : 平成21年9月25日(金)13時30分～
- ② 開催場所 : 船の科学館 青函連絡船羊蹄丸 会議室

- ③ 参加者 : 委員・5名、オブザーバー・2名、事務局・2名
- ④ 議案 : ○ 助成事業について（応募要綱等の改正）
 - スキルアップ交流会について（2月神戸で実施）
 - クイズラリーについて（22年夏休み頃実施）
 - その他・報告事項

(3) 第3回企画委員会

- ① 開催日時 : 平成22年3月18日（木）13時30分～
- ② 開催場所 : 東京みなと館 会議室
- ③ 参加者 : 委員・6名、オブザーバー・3名、事務局・2名
- ④ 議案 : ○ 平成21年度 事業報告
 - ・ 交流事業（会員交流会、スキルアップ交流会）
 - ・ 情報発信・広報事業（クイズラリー、HP等）
 - ・ 支援事業（平成21年度助成事業）
 - ・ 会議等（総会、企画委員会、助成事業審査委員会）
 - ・ 事業参画（横浜港開港150周年記念事業
パネル展）
 - ・ 巡回パネル展
- 報告事項
 - ・ 会員数の推移と会費納入状況について
 - ・ 平成21年度収支決算見込み
- 今後の検討課題
 - ・ 役員の改選について
 - ・ 情報発信事業の在り方について
 - ・ 助成事業について（応募要綱・審査基準見直し）
 - ・ 継続事業の見直し（クイズラリー、スキルアップ
交流会）
 - ・ 新規事業について（ポスター制作、パネル制作）
 - ・ 会員の拡充について
 - ・ 会則の見直し、会報誌等について
 - ・ 平成22年度暫定予算について

7. 平成22年度助成事業審査委員会

第2回企画委員会にて審議改定された、応募要綱、審査（評価）基準等に基づき応募案内し、下記の申請案件について委員会に諮問した。

- (1) 応募期間 : 平成21年10月16日(金) ～11月30日(月)

(2) 申請案件 : イベント・6件、印刷等・2件 計 8件

(3) 審査日時 : 平成21年12月17日(金)

13時30分～15時30分

(4) 審査会場 : (社)ウォーターフロント開発協会

(5) 審査委員 : 委員長 堀川 洋 ((社)日本港湾協会専務理事)
委員 塩崎 正孝 (国土交通省 国際・環境課長)
委員 小堀 信幸 (企画委員会 委員長)
(船の科学館 学芸部長)

(6) 審査結果

番号	申請会員名	申請活動名	実施期間	助成決定額
1	みちのく北方漁船博物館	企画展「青森港の船・いまむかし」	自22. 4. 1 至23. 3. 31	156,000円
2	神戸海洋博物館	「ミナト神戸の原点を 探る」	自22. 9. 22 至22. 11. 23	156,000円
3	日本郵船歴史博物館	「丸窓」に見る船と 建築の関係	自22. 12. 4 至23. 4. 3	156,000円
4	名古屋海洋博物館	名古屋港を描いた作品 コンクール	22. 11. 3	52,000円
5	横浜みなと博物館	展覧会「横浜港を結ぶ交通 一渡し舟から臨港鉄道が できるまで一展	自22. 9. 1 至23. 5. 31	156,000円
6	フェルケール博物館	企画展「日本の国境線・知 られざる美しき島々」 写真展	自23. 1. 23 至23. 3. 6	142,000円
7	青函連絡船メモリアル シップ八甲田丸	八甲田丸開館20周年記念 「思い出の青函連絡船」 企画展	自22. 4. 1 至23. 3. 31	156,000円
8	うみてらす 14	うみてらす14PR用 パンフレット等印刷	自22. 6. 1 至23. 3. 31	26,000円
計	8 館			1,000,000円

◎ 審査後の委員の意見として、助成総額が限定される現状で、申請件数が多数に成りますと、1件当たりの助成金が小額となり、本来の助成事業を実施することの、目的・趣旨が達成されないのではと、見直し検討の要あり。